

3.2 小学校中学年 (1)

I 対処行動を知る 「いろいろな避難場所を知ろう【てんでんこ2】」	
指導する学年	小学校3年生
指導する時間 (時数)	特別活動・学級活動(1時間)
教育目標	地震や津波の恐ろしさを知り、津波から命を守るためには、日頃からどのようなことをしておかなければならないのかについて関心をもつ。
資料する資料	【動画-01】2011年東日本大震災 【写真-01】1944年昭和東南海地震津波による尾鷲市の被災 【写真-12】津波緊急避難ビルの例 【資料-11】津波に関する標識
関連する 教科・行事等	【小3社会科】1 ◎もっといろいろ知りたいね 1 学校のまわり

【導入】

(1) 東日本大震災の津波の動画を見て、津波の恐ろしさについてイメージをもつ。



【動画-01】[4:38]
2011年東日本大震災(岩手県釜石市)
【1】「津波によって街が壊滅する様子」



【動画-01】[2:39]
2011年東日本大震災(宮城県気仙沼市)
【3】「津波が街中に襲来する様子」

(2) 過去の津波による尾鷲の被災の様子を見せて、近い将来、尾鷲に津波が来る可能性が高いことを復習する。

→多くの犠牲者がでた地震や津波が釜石に襲来してきた

ことを確認する(尾鷲市の犠牲者数は以下の通り)

- ・1944年(昭和19年)東南海地震 65人
- ・1946年(昭和21年)南海地震
- ・1960年(昭和35年)チリ地震

→過去にあったような大きな地震や津波が近い将来、

再び尾鷲に襲ってくることを確認する

- ・東南海・南海地震 今後30年で60~70%の確率で発生



【写真-01】[17枚] 1944年
昭和東南海地震津波による尾鷲市の被害

(3) 動画を見て、気付いたことを話し合う。

→発言の中から、「津波についての知識の有無が命を左右した」ことをおさえる

→「どのようにすれば津波から命を守れるのだろうか」という課題意識を持たせる

(4) 学習課題を把握する。